

法政大学大学院公共政策研究科院生会

2016 年通常総会議事録

田代氏 それではお手元の議案書を御確認下さい。清水代表より説明をお願いします。

清水氏 2 ページ目に議事として記載させて頂いております。コース名が変わりました。新しく創設されたサステナビリティについて、今日議事会で可決されましたら規約の中での名称を変更させて頂きます。

田代氏 何かご質問等ございませんか、それでは採決を取らせて頂きます。本議案について賛成の方は挙手を願います。有難うございました。本議案は賛成多数ということで、可決されました。有難うございます。続いて活動報告並びに会計報告決算会計説明を御願います。

清水氏 シンポジウムを開催した。専攻室について、専攻室の整備は紙やインク代をはじめとした、備品整備を進めて快適な環境になりつつある。また、書籍代として書籍購入補助金は、例年 10 万位補助金が出る。専攻室は大いに利用してほしい。学生研究補助金は各コース代表の協力を基に募った。シンポジウムに関しては、修了生の方々に協力してもらい、それぞれの活躍ぶりは大学院での学びを活かす術を紹介してもらった。修了生も終了してからも繋がりが持てるような形を作りたい。通知について、3 階の掲示板で今回の総会通知も行った。再三事務局と院生全員へのメール送信を依頼しているが、事務局では対応できない。連絡方法は今後も考えなければならない。決算報告は議案書を参考頂きたい。表記の通り会計を進めた。

田代氏 この件について、何か質問や御意見はありますか。なければ採決に移らせて頂きます。本議案に賛成の方は挙手願います。有難うございました。賛成多数により、本議案は可決されました。それでは議事 3 番の今年度の活動計画について、説明をお願いします。

- 12 : 32 清水氏 議事 3 予算について説明
今年は 80 万位かと想定されるが、次回の大学院予算説明会にて正確な金額が開示される。第一に専攻室についての予算として紙やインク等の予算が取れる。専攻室消耗品予算は一応 30 万円、残金は配分となるが、やってみないとわからない。以上
- 12 : 32 田代氏 質問はないか、お金の話は判りづらいと思う。なるべく今聞いた方がよい。
- 青木氏 4 月から研修生として入学した。研修生は研究補助金申請の対象となるのだろうか？
- 12 : 37 清水氏 その辺りの線引きは難しい
- 丸山氏 私は昨年研究生であった。当時研修生は議決権、予算も無かった。
- 青木氏 専攻室の利用は可能か？
- 清水氏 専攻室は使える。1 階で鍵を受け取り使用可、議決権はない。
- 12 : 39 鈴木氏 レジュメの紙が足りない。ゼミに持ち帰り皆に説明するので、レジュメをもう一部欲しい。
- (山崎氏 レジュメを渡す)
- 12 : 41 田代氏 採決を取る 計画案 予算案 共に賛成多数
- 12 : 42 清水氏 議事 4 役員の選任について
コース代表については現在調整中 ゼミ代表を選出すること
- 12 : 45 渡辺氏 公マネと市民社会の代表は昨年同様 4 半期なのか？半年交代なのか？
- 清水氏 それもまだ決まっていない。決まった人達に連絡することは如何なものかとも思う。これから話し合いでいちばんやり易い方法でやるのが良いが、面倒くさいと差障りがある。

12 : 46 田代氏 この先年度末は補助金支払等が発生する。院生会からゼミごとに配分し支払いをするのは大変である。シンポジウムで手渡し等が行われたが、初めて会う学生とは初対面で金銭の受け渡しが行われる。確実に支払いをする為には銀行振り込みにて支払い、振込手数料に補助金を使用することは可能か？

清水氏 振込手数料に補助金は使用できない。受取人が日時を調整して自ら受け取りに来てもらう形となる。

12 : 49 宮川氏 金銭の回り方、制度設計はきちんとしたい。5月20日に大学院事務局より補助金についての説明がある。補助金は公金であり色々な可能性がある。しかしイベントに参加して受け取る人にしか配分することが出来ない。また、配分業務は大変であり院生会役員の成り手がいない。シンプル、かつ公明正大に運営し、随時掲示板に張り出し公布する。コース代表、ゼミ代表になるべく負担のかからないようにしたい。

12 : 51 宮崎氏 新しい体制において、お金の支払いとシンポジウム開催が院生会運営の課題である。

12 : 52 田代氏 お知らせ、お願いがある。専攻室のPCについて、専攻室ABのPCはそこそこだが、CのPCは古い。これから整備していく。専攻室の相談は今後徐々に進めながらタイミングを見て進める。限られた予算だが整備を進めたい。

12 : 53 田代氏 質問等はないか、なければ清水さんより挨拶頂きたい。

清水氏 あまりにも専攻室が汚いので掃除を始めたことがきっかけだった。どうかここまで院生会活動ができたこと、皆に感謝したい。院生会はまだ歩き始めたぐらい、なるべく負担がなくかつ公明正大に社会に開かれた活動を続けてほしい。留学生の方への接し方や手助けは私自身力を入れて活動した。役員退任しても変わらず留学生の皆さんを助けていきたい。

宮崎氏 清水さんをはじめ、皆さんの協力に感謝したい。

12 : 58 新規役員の挨拶

13 : 05 閉会

【追記】

総会時欠員となっていたコース代表他が補充され、2016年度院生会の役員体制は下記となった。

- 1 院生会代表 宮川 裕二 (淵元ゼミ)
- 2 学生研究補助金担当 青山 貴洋 (廣瀬ゼミ)
- 3 公共マネジメントコース代表 宮川 裕二 (淵元ゼミ)
- 4 市民社会ガバナンスコース代表 西村菜穂子 (池田ゼミ)
- 5 サステイナビリティ学専攻代表 田代 邦幸 (長谷川ゼミ)
- 6 会計監査 出口 高靖 (名和田ゼミ)

(ホームページ・メール担当 : 雨宮由紀子 (杉崎ゼミ)、丸山 美幸 (淵元ゼミ))

(専攻室・図書担当 : 西村菜穂子 (池田ゼミ)、山崎小夜子 (宮川ゼミ))

(PC 担当 : 田代 邦幸 (長谷川ゼミ))